



第3章  
景観づくりの  
基本理念  
・  
基本方針

## 第3章 景観づくりの基本理念・基本方針

### 1. 基本理念

千歳市は、新千歳空港を有する北海道の一大交通拠点として高い都市機能をもった国際都市であるとともに、支笏洞爺国立公園に代表される雄大な自然景観や北海道らしい広がりのある田園景観、世界遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の1つである史跡キウス周堤墓群やウサクマイ遺跡群などの縄文時代からアイヌ文化期、近代に至るまでの歴史を伝える歴史・文化を形成する景観を有しており、千歳らしさを構成する重要な要素となっています。

一方、まちの顔である中心市街地では空き店舗や遊休不動産が見られるなど、市民や観光客に対する魅力が不足しているなどといった課題もあります。

今後、私たちは、千歳市の貴重な財産であるこれらの自然景観、田園景観、歴史・文化を形成する景観の保全に努めるとともに、市民の暮らしを豊かにする都市景観を、市民、事業者、市が協力しあいながら共通の意識のもとに、長い年月をかけて育み、将来の千歳市民へ受け継いでいく必要があります。

このことから、私たちは千歳市が持っている特性を生かし、市民、事業者、市がみんなの力で、より美しく快適なまちなみをつくりあげていくための基本理念を定めます。

### 市民、事業者、市が協働で進める 千歳市の景観づくりの基本理念

- 大地の持つ美しい自然、風土、歴史を生かしまもる
- 千歳市の持つ特性、魅力を生かし、千歳らしさを創出する
- 千歳市の美しい景観をまもり、育て、つくり引き継ぐ

## 2. 基本方針

千歳市の景観づくりの基本理念と景観特性から、景観づくりの基本方針を以下の通りに定めます。この方針は市民、事業者、市が協働で景観づくりを行っていくためのものとします。

### 市民、事業者、市が協働で進める 千歳市の景観づくりの基本方針

- (1) 豊かな自然景観・広がりのある田園景観を大切にした景観づくり
- (2) 史跡キウス周堤墓群などの保全につながる景観づくり
- (3) 世界につながる空のまち・国際都市にふさわしい景観づくり
- (4) 賑わいと交流を生む景観づくり
- (5) 質の高い暮らしを感じる都市の景観づくり
- (6) 愛着と誇りを育む協働による景観づくり

#### (1) 豊かな自然景観・広がりのある田園景観を大切にした景観づくり

千歳市は、支笏湖や樽前山などを含む国立公園を有するほか、サケの遡上を見ることができる千歳川など、身近に感じることができる豊かな自然景観があり、また、市域の東部には、農業の営みが形成する広がりのある北海道らしい田園景観があります。

このように千歳市には、北海道らしい自然景観や田園景観があることから、これらを大切にした景観づくりを進めます。

#### (2) 史跡キウス周堤墓群などの保全につながる景観づくり

千歳市には、史跡キウス周堤墓群、史跡ウサクマイ遺跡群に代表される、道内有数の遺跡群が所在しています。

長い年月を経て育まれた史跡キウス周堤墓群及びその周辺の歴史・文化を形成する景観を保全し、世界遺産にふさわしい景観づくりを進めます。

また、北海道の歴史・文化を後世に伝えるため、その他の歴史・文化を形成する景観の保全につながる景観づくりを進めます。

### （3）世界とつながる空のまち・国際都市にふさわしい景観づくり

---

国際空港である新千歳空港を持つ千歳市は、来訪者に北海道のイメージを印象づける大切なまちであり、今後もその役割は高まることが想定されることから、自然と都市が調和しながら、そこにおもてなしが感じられるような、世界とつながる空のまち・国際都市にふさわしい景観づくりを進めます。

### （4）賑わいと交流を生む景観づくり

---

千歳市の顔である中心市街地は、近年多くの外国人観光客が滞在するようになっていますが、空き店舗や遊休不動産などが見られるなど、市民や観光客に対する魅力が不足し、市内の回遊に十分結びつけることができず、また、賑わいを感じづらい状況となっています。

そこで、人が歩いて楽しいまち、居心地が良い空間づくりなど「人を中心としたまち」への転換を促し、賑わいと交流を生む景観づくりを進めます。

### （5）質の高い暮らしを感じる都市の景観づくり

---

千歳市には、計画的につくられたみどりに囲まれている住宅地や工業団地があります。また市街地には、支笏湖を水源とする清流千歳川をはじめとする大小の河川が流れ、水とみどりの調和した都市の景観がつくられています。

移住や定住などを進めるためにも質の高い住宅環境などが求められることから、水とみどりに囲まれた質の高い暮らしが営まれる都市の景観づくりを進めます。

### （6）愛着と誇りを育む協働による景観づくり

---

千歳市には、支笏洞爺国立公園に代表される自然景観やパレットの丘に代表される東部の北海道らしい田園景観、世界遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の1つである史跡キウス周堤墓群、まちなかを流れる千歳川やインディアン水車などがあり、これらは千歳市の観光資源であると同時に市民のふるさとの風景となっています。

こうしたふるさとの風景を保全する景観づくりを市民・事業者・市の協働で進めることによりふるさとの風景を大切にする市民意識が醸成され、地元への愛着と誇りが育まれることから、市民・事業者・市の協働で景観づくりを行う取り組みを進めます。